

もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟
〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17
電話・FAX (082) 296-5597
E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp
URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>
郵便振替口座 01380-6-37958

山岳遭難が最多 2794 人

2014 年全国

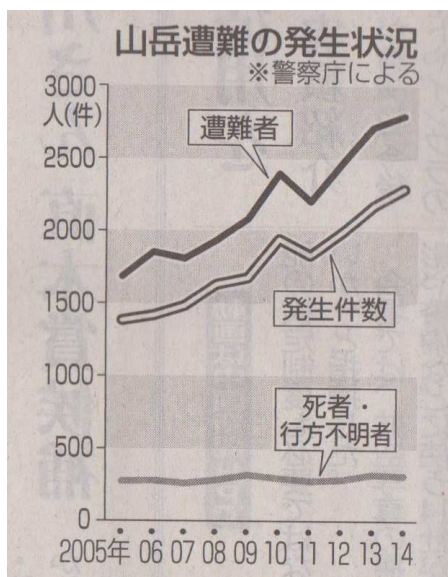
死者・不明 60 歳以上 68%

昨年 1 年間に全国で発生した山岳遭難事故は 2293 件 (昨年比 121 件増)、遭難者は 2794 人(81 人増)だったことが 18 日、警視庁のまとめで分かった。いずれも記録に残る 1961 年以降最多だった前年の数字を上回った。死者・行方不明者は前年より 9 人少ない 311 人だった。

警視庁によると、遭難者の 77.0%に当たる 2151 人が登山目的で、40 歳以上が 76.4%の 2136 人に上った。死者・行方不明者のうち 60 歳以上が 214 人で 68.8%を占めた。

都道府県別では長野県 272 件

都道府県別の発生では、長野県が 272 件で最も多く、富山県の 133 件、北海道の 120 件が続いた。また、携帯電話や無線を使って救助要請をしたケースは遭難事故の 75.4%を占めたが、警察庁の担当者は「山岳では通話エリアが限られるので注意が必要」とした上で、「体力や経験に見合った山を選び、安全な登山計画を立ててほしい」と話している。(中国新聞 2015・6・19)



岳連活動を円滑に

副会長 江種 幸男

この度副会長に指名されました、福山山岳会の江種幸男と申します。東部連絡会の代表として、いろいろな行事、運営会議等でお世話になります。よろしくお願いいたします。

福山山岳会は今年の 2 月 22 日に 96 回目の草創記念日を迎え、4 月 18 日には例会山行 4500 回を達成しました。週一回のペースで登山活動をしており、会員は 270 名と大世帯です。ただし、当会も高齢化が進み新旧の交代時期に差し掛かっているようです。4 年後には輝かしい創立 100 周年を迎えるわけですが、次の世代に立派にバトンを引き継ぎたいもので

す。

どの山岳会でも同じ傾向と思いますが、登山活動の目的をみると雪山、登はんなどより高度な、克服的なスポーツを目指すグループ、里山はもちろんアルプスの夏山等で喜びと感動を志向するグループ、里山を中心に楽しみながらも健康を求めるグループと大きくは3つのタイプに分けられ、多元化の傾向にあると思います。各会員が求めている多様化した活動に応えられる体制作りと安全対策が必要です。また、これらを担うジュニアの育成についてもなんらかの対策をとらねばなりません。福山山岳会でも孫・子供とのキャンプ、キッズクライミング教室等で取り組んでいますが、これからもっと重点をおいて活動したいと思います。

一般市民については比婆山スカイランの規模には及びもつきませんが、福山市民ウォーキング大会のお世話を始めて早14年、年々参加者も増加しております。

県岳連の活動が円滑に推進できるよう、いささかでもお手伝いをしたいと思います。よろしく申し上げます。簡単ですがご挨拶とさせていただきます。

第3回 登山教室を終えて

木ノ宗山～二ツ城山・松笠山 6月28日(日)

2015年度の第3回目は「12kg以上の荷物を背負って歩いてみよう」ということで木ノ宗山～松笠山に行ってきました。梅雨時期にも関わらず天気も良くそれぞれの目標でしっかり歩けたと思います。(指導部 森本 覚)

いろんな山に登りたい 渡邊久美子

6月の登山教室は、木ノ宗山～二ツ城山～松笠山を重さ12kg以上を背負っての縦走です。芸備線の上深川駅から三篠川を少し下り竹林の手前の登山口でストレッチをしてから木ノ宗山に向かいました。前半体が重く足があがらないので自分のペースを行こうと先頭をいかせてもらいましたがいきなりの急登に足が止まってしまい先頭を変わってもらいました。前半

は、スタートのペースを掴むのが難しく皆さんについて行けずバテてしまうので毎回の反省点になります。木ノ宗山の山頂は、山城の跡があり展望も良く、つぎに向かう二ツ城山が見えます。木ノ宗山を下り三田ヶ峠で来月のテント泊に必要な装備や簡易ハーネスの説明を受けました。テントで寝起きし食事をするときに必要な装備品が登山計画書に書かれていても実際にどういう物かわからずにいましたが、テント泊一式以上の物を背負ってきて説明していただき、山で泊まるには何が必要でどんなものが便利で軽量化できるか。どんな場面で必要か。短時間でしたが大変勉強になりました。そして自分が揃えきれていない装備も見えてきました。二ツ城山は、岩と展望が楽しめる山頂ですが、梅雨にしては天気良すぎて皆さん日陰を選んで休憩されていました。山頂から蝦蟇ヶ峠までひたすら下ります。峠の憩いの森の東屋から急登を20分ほど登り松笠山に到着しました。後は戸坂駅がゴールです。途中、展望台に立ち寄り岩の上で太田川や向かいの武田山を眺めてゆっくり休憩を楽しみました。展望の良い場所に立つと自分の歩いてきた位置を確認したり、町並みを眺めていたくなります。上深川駅から山を三つ越えて戸坂駅に到着する。広島の上深川には、駅から駅を繋げる縦走コースが沢山あり楽しめて好きです。登山教室3回歩き終えて思う事は、誰かが不調になると皆さんが助けてくれます。まだまだ自分の歩きで必死な私は、他人の動きまでは気付かず助けて頂くばかりです。もっと余裕を持って歩けるようになりメンバーといろんな山に登っていきたいと思いました。写真提供 久保田 征治 二ツ城山山頂にて



フォト俳句⑬

兎も角も槍の肩にて古希の夏

俳句・写真 江種幸男 (福山山岳会)

**岳連短信**

1、山岳・辺境文化セミナーについて

一般社団法人 広島県山岳連盟
会長 京才 昭

広島県山岳連盟(会長:京才昭。会員数31団体、1761名)は、山岳地帯を中心に自然を愛する者が集う団体として、これまで数多くの活動を進めて参りました。1993年度から地域社会への幅広い還元活動の一環として、さらに国際化をより一層推進するために山岳・辺境文化セミナーを開催いたしました。

このセミナーは、山岳・自然活動でご活躍されている方をお招きすると同時に、広島県山岳連盟の国際的活動を広く地域住民の方々へご紹介しながら、ともに山岳・辺境文化を学ぶことを基軸として参りました。

第23回目を迎える今年度は、講師に関野吉晴氏をお招きします。関野氏には、2006年と2007年に当セミナーの講師を務めていただき、今回が3回目となります。

関野氏は1993年から2002年にかけて、アフリカで誕生した人類がユーラシア大陸を通ってアメリカ大陸に拡散した道を、南米最南端から逆ルートでたどる「グレートジャーニー」に挑まれ、2004年からは「新グレートジャーニー 日本列島にやつて来た人々」をスタート。シベリアから稚内までの「北方ルート」、

ヒマラヤからインドシナを經由して朝鮮半島から対馬までの「中央ルート」、インドネシア・スラウェシ島から石垣島までの「海のルート」を踏破されました。1999年植村直己冒険賞を受賞されています。

山岳辺境文化セミナーの歩み

- 第1回 長谷川昌美氏(ウータンクラブ代表)
- 第2回 藤本高嶺氏(登山家・ジャーナリスト)
- 第3回 田部井淳子氏(エベレスト女性初登頂者)
- 第4回 重広恒夫氏(日本百名山最短登山記録者)
- 第5回 岩崎元郎氏(NHK登山学講師)
- 第6回 岩崎元郎氏(NHK登山学講師)
- 第7回 斎藤淳生氏(前日本山岳会会長・医師)
- 第8回 平林克敏氏(エベレスト・日本人初登頂者)
- 第9回 椎名誠氏(作家・映画監督)
- 第10回 山田 淳氏(登山家)(セブンサミツの世界最年少記録保持者)
- 第11回 大田 祥子氏(医師)
- 第12回 岩崎元郎氏(NHK登山学講師)
- 第13回 渡邊玉枝氏(登山家)
- 第14回 関野吉晴氏(医師・探検家)
- 第15回 関野吉晴氏(医師・探検家)
- 第16回 服部文祥氏(サバイバル登山家)
- 第17回 山野井泰史氏(登山家)
- 第18回 山本正嘉氏(大学教授。登山家)
- 第19回 三浦雄下郎氏(プロスキーヤー)
- 第20回 石川直樹氏(写真家)
- 第21回 竹内洋岳氏(プロ登山家)
- 第22回 角幡唯介氏(探検家)
- 第23回 関野吉晴氏(探検家)平成27年度予定

2、御寄贈 有難うございました。

- ①峠 NO51 2014・1～12 (2015・4・1) 広島山稜会 99 頁
- ②第 53 回全日本登山体育大会徳島退会報告書「山岳信仰と平家伝説のロマンが漂う山」 26・10・11～13 徳島市 徳島県山岳連盟 35 頁
- ③やぶこぎ 35 号 (平成 24 年) 広島三峰会 74 頁
やぶこぎ 36 号 (平成 25 年) 広島三峰会 72 頁

④事故報告書 (名越實氏横尾尾根遭難事故)

平成 26 年 10 月 広島山岳会 350 頁

⑤ひこばえ 交流 15 周年記念号 2012 山岳連盟

登山教室同窓会ひこばえ 2012・10・20 64 頁

⑥日山協五十年誌 日本山岳協会平成 23・1 307 頁

⑦広島登山史 古代信仰登山と近代広島登山界の歩

み 瀬尾幸雄 2014・4・10 80 頁

⑧広島山岳平和祭報告書 2014 年アジア山岳連盟

(UAAA) 総会・20 周年記念 2015・5・22 42 頁

(この資料は岳連事務所に保管されています。)

3、第 15 回ひこばえ写真展開催

第 15 回「ひこばえ写真展」が 2015 年 6 月 16 日(火)から 21 日(日)の 6 日間、NHK ギャラリー 2 階で開催された。「山を楽しむ」と称して会員の山に関する写真のほか京オ岳連会長など会員外の写真 4 点を含めて 41 点が展示された。写真展が結ぶ山の友情や比婆山スカイランなどの活動も紹介された。観覧者は約 400 人だった。

4、雪崩・滑落・天候の急変に要注意

例年、大型連休前後の春山において多くの遭難事故が発生しています。とりわけ、遭難者に占める中高年登山者の割合は 7~8 割と高く。転・滑落、道迷い、転倒などの事故が多発しています。

この時期は、ふもとは初夏の装いでも山では天候が急変すれば降雪もあり、冬山に様変わりします。春山に対する認識が甘く、天候に対する不適切な判断や不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど知識、経験、体力の不足から遭難に至ることが多く見かけられます。また、仲間に連れて行ってもらうだけという考えからか、登山中に仲間とはぐれて道に迷うなど、離散型の遭難も多くみられます。

登山は、自己責任において行わなければなりません。それは計画から帰宅するまでの一切を自分で主体的にやり遂げるという事です。

事業計画 (予定) 8 月

8・2 (日) 岳連沢登り研修会 (煤井谷)

8・8 (土) ~11 (火) 第 59 回インターハイ (滋賀県)

8・9 (日) 山の日岳連主催イベント

「故郷の山に登ろう」

8・9 (日) 第 5 回クライミングスクール (三倉岳)

8・11 (火) 「山の日」制定記念事業 山の日フォーラムひろしま 2015 東広島市中央生涯センター(大ホール) (記念講演 赤堀聡之林野庁森林利用課長: 無料)

8・19 (水) 第 5 回運営会議

8・29 (度) 岳連例会山行 (鈴峯)

山の風景 52**聖湖に映る臥龍山 1223m**

2013・10・28 写真提供 森 智昭 (ひこばえ)

**訂正** 「もみじ」140

2 頁 11 行・15 行 IFSC ワールドユース世界大会

→IFSC ワールドユース選手権

2 頁 14 行 少年女子リード 7 位→6 位

2 頁 18 行 安芸高校山下 4 位→7 位

編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想・写真など気軽にお寄せください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○各研修会、講習会へ参加された方は積極的に報告書を提出ください。随時掲載いたします。

題字デザイン 今村みずほ **編集** 仲井正美